

鈴木弘睦 議員

内陸フロンティア

北部地域の取り組み

問 新・現東名のダブルネットワークを活用した北部地域の構想は。

答 三大都市圏への「食と農」の一大供給拠点と位置づけ、工場や研究所、物流施設等を集積するために、本市は総合特区制度による規制緩和や財政支援を受けて事業の推進を図る。

北部地域の幹線道路整備の

現状と課題

問 山梨中央通り線整備後の掛川山梨線沿線の整備計画は。

答 袋井駅森線と山梨中央通り線の一体的な整備が必要であるため、早急に着手したい。沿線の事業者への対策についても、地区計画を含め研究していきたい。



交通量が多いJA山梨支店北交差点

通学路の危険箇所整備と

今後の予定

問 下山梨西ノ街道整備計画は。

答 生徒が車両とすれ違う際に危険な状態で、昨年度は地元自治会から拡幅整備の要望も出ている。今後は、意見交換をしながら道路整備における事業化準備制度において対応していきたい。

山田貴子 議員

ふくろい観光ルネッサンス

事業の成果は

問 この事業の中で「ほっとな町並み景観創出事業」の成果は。

答 遠州三山の門前業者を中心にした15人で課題の掘り起しなどしている。平成26年度には、整備計画やアクションプランづくりを進め平成27年度から具体的に動き出す。

教育振興会に対する

市の考え方は

問 吹奏楽部の楽器は、市が購入し、学校に貸与する方法が取れないか。

答 本来は市が各学校に配分している予算で対応すべきと考えられているが、地域の振興会から部活動の活性化を思つての温かいご支援、学校教育の充実を願つての善意と受け止めている。

教育方針「レインボー

プラン」の効果は

問 フーちゃん先生や学校健康安全支援員の効果は。

答 養護教諭が子どもに寄り添う時間が増え、心のケアが必要な子どもに、ゆとりをもって話を聞いたり、指導をしたりすることができるので安心して学校に登校するようになってきている。今後も、各学校と連携をとりながら進めて行く。



法多山の門前